患者の皆様へ

2016 年 2 月 1 日
婦人科

　現在、婦人科では、「瞬間接着剤を用いた改良型小開腹巨大卵巣嚢腫摘出術」に関する研究を行っています。今後の治療に役立てることを目的に、この研究では頚管妊娠の患者さんの診療情報などを利用させて頂きます。診療情報などがこの研究で何のために、どのように使われているのかについて詳しく知りたい方は、下記の窓口にご連絡ください。

１．研究課題名　「瞬間接着剤を用いた改良型小開腹巨大卵巣嚢腫摘出術の有効性に関する後方視的検討」

２．研究の意義・目的　「巨大卵巣嚢腫の治療法として当科で行っている、改良型小開腹巨大卵巣嚢腫摘出術が有効であったかどうかを検討する」

３．研究の方法　　2012 年 1 月から 2015 年 12 月 31 日までのカルテ（診療録）を参照して後方視的な検討を行います。

４．個人情報の取り扱いについて

　本研究で得られた個人情報は、外部に洩れることのないように厳重に管理します。研究成果の発表にあたっては、患者さんの氏名などは一切公表しないこととします。データ等は、千葉大学大学院医学研究院生殖医学教室の鍵のかかる棚で保管します。

５．研究に診療情報などを利用して欲しくない場合について

　ご協力頂けない場合には、原則として結果の公開前であれば情報の削除などの対応をしますので、下記の窓口にご遠慮なくお申し出ください。

文部科学省･厚生労働省による「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」に基づいて掲示を行っています。

研究実施機関　　：千葉大学大学院医学研究院　生殖医学
本件のお問合せ先：医学部附属病院婦人科　医師　生水真紀夫、石川博士
０４３（２２２）７１７１　内線６８９４　（婦人科外来）